

令和4年4月5日

1 学年

72 期 江風探究ユニット実施計画

1 目的

総合的な探究の時間の中で「江風探究ユニット①～⑤」と称する探究活動を実施し、課題研究の手法を学習する。その活動を通して、探究力（課題発見力・仮説設定力・計画力・実証力・考察力・表現力）を向上させ、身近なところから課題を見出し、主体的・協働的に解決できる人材を育成する。

2 研究の内容と方法

(1) 実施日時（計 13 時間）

【江風探究ユニット①】 3 時間 4 月 11 日（月）、4 月中旬～下旬 各 1 時間
4 月 27 日（水） 1 時間

【江風探究ユニット②】 2 時間 6 月 22 日（水）、7 月 1 日（金） 各 1 時間

【江風探究ユニット③】 4 時間 9 月 28 日（水）、10 月 5 日（水）、19 日（水）、26 日（水） 各 1 時間

【江風探究ユニット④】 3 時間 11 月 30 日（水）、12 月 14 日（水）、21 日（水） 各 1 時間

【江風探究ユニット⑤】 1 時間 1 月 11 日（水） 1 時間

(2) 実施場所 新潟県立新潟南高等学校

(3) 実施生徒 本校 1 年生 365 名

(4) 研究内容

【江風探究ユニット①】 探究活動のガイダンス・図書館オリエンテーション・2 年生の発表

4 月 11 日（月）に江風探究ユニットの意義やスケジュールについて説明を行い、1 年間の活動を見通す機会とする。また、国語の授業で図書館オリエンテーションを実施し、資料の探し方や書誌情報の記録の仕方について学ぶ。

4 月 27 日（水）に 2 年生から昨年度の取組に関する発表をしてもらい、探究活動の実際を学び、自分たちの今後の活動を有益なものにするための契機とする。

【江風探究ユニット②】 新潟市に関する課題の発見と仮説の設定

「新潟市の課題を発見し、解決策を考えよう」というテーマで講演会を行い、各クラスにおいてグループ学習を行う。

1 時間目に、新潟市の担当者による講演会を開催し、新潟市の考える課題について学ぶ。担当者が全般的な説明をした後、「新潟市の課題と取組」という形で、生徒全員に問題を提起してもらう。

2 時間目に研究テーマとリサーチクエスチョン（研究全体で何を明らかにしたいのかを示す「問い」）を設定し、それに対する仮説（「答え」の予想）を考察する。

夏季休業を利用して、仮説の真偽を検証するための調査や、情報及び資料の収集を行う。これにより、生徒の課題発見力や仮説設定力、考察力の育成を目指す。

【江風探究ユニット③】 新潟市に関する課題を解決するための仮説の実証と発表準備

「新潟市の課題解決について考えた仮説を実証しよう」というテーマで、グループ学習を行う。

4 時間を通して仮説の実証と考察を行う。仮説設定から結論に至るまでの一連の試行錯誤を通して、2 年生での課題研究にもつながるような仮説設定力、計画力、実証力、思考力の育成を目指す。

【江風探究ユニット④】 ポスター作成と成果の発表

「新潟市の課題解決について行った探究活動を、発表しよう」というテーマで、ポスターを作成し、発表を行う。

1・2 時間目でポスターを作成し、発表原稿を準備する。

3 時間目に体育館にてポスター発表を行う。以上の活動を通して、2 年生での課題研究につながる表現力の育成を目指す。*12 月 21 日（水）1 学年の 5 限の授業を各教科から提供していただく。

【江風探究ユニット⑤】 成果を論文にまとめる

「新潟市の課題解決について行った探究活動を、論文にまとめよう」というテーマで、論文を作成する。仮説の設定から実証に至るまでの一連の探究活動（江風探究ユニット③）を論文にまとめ、2 年生での課題研究につながるような表現力と思考力を養う。

(5) 江風探究ユニットの展開と、主として身に付けさせたい能力について

	資料を 活用する能力	探究力					
		課題発見力	仮説設定力	計画力	実証力	考察力	表現力
①	○	○				○	
②		◎	○				
③	○		◎	◎	◎	◎	
④						○	◎
⑤		○	○	○	○	○	◎

3 評価

江風探究ユニット①～④について生徒対象アンケートを実施し、活動の前後でどのような変化があったか、それぞれ 10 段階で自己評価を行う。